



コンテナ苗。1台に24個開いた深さ約15cmの穴に土を入れ、1粒ずつ播種し育苗を行う

植をした↓5cm生長した」、海岸なら「防潮堤が完成した」「盛土工事が始まった」「防風柵が設置された」といった具合です。そういった変化・進捗は、遠くからは見えにくいのも事実です。

プロジェクトとしては、来春以降、海岸への植栽をするための苗を生産しています。名取市では、すでに国土交通省による防潮堤の工事は仙台空港付近の約5kmが先陣を切って完成し、そこから内陸100mほどのところでは盛土工事が進められています。これは、地下水位が高い宮城県南部において重要なものです。クロマツがその特性である深根性を最大限活かし、地中に

「今、エクト」の現場では第一、第二育苗場の2カ所でクロマツと広葉樹の苗、合計約16万本が育っています。プロジェクトが育苗を委託している「名取市海岸林再生の会」の皆さんが日々、草取りや水やり、害虫駆除などを行っています。

同会は、「宮城県農林種苗農業協同組合」に加盟し、組合員として県から種子の払い下げを受け、その計画に基づいてクロマツの苗木生産を行っています。2013年度新たに導入したコンテナによる育苗も、早期植栽を目指す国・県の方針に沿ってスタートしたものです。

また、今年度は広葉樹の播種も行い、新たな挑戦の多い育苗の現場となりそうです。

まだ 植えないのか、との声は多く寄せられる質問のひとつ。プロジェクト立ち上げ直後の「いつ植えるのか」に比べると、歩みの遅さへの苛立ちが含まれているようにも感じられます。現場においては日々変化が見られます。育苗場なら「種子を播いた↓芽が出た」「移

風化させない! 震災復興支援

「海岸林再生プロジェクト」の

今、そしてこれから



東日本大震災長期復興支援である「海岸林再生プロジェクト」は、多くの皆さまに支えられ、2シーズン目の育苗をスタートさせました。被災地では、目に見える形で復興が進んでいるケースばかりではなく、最近では震災の“風化”も問題視されています。オイスカは、この“風化”とも向き合い、現場の今を発信し、「これから」を共に作り、歩んでくれる仲間を増やすことで、海岸林の再生を目指します。

2013年4月20日に移植された2シーズン目のクロマツ。この苗が海岸に植えられるのは来年春の予定

現在の育苗場

クロマツ(1年目)	70,000本	(うちコンテナ苗 23,000本)
クロマツ(2年目)	90,000本	
広葉樹	1,700本	(クリ・コナラなど)
合計	161,700本	

根を伸ばせるよう2~3mの植栽基盤を造成するもので、林野庁によって進められています。

国による植栽に向けたこれらの工事は着々と進んでいますが、オイスカとしては、海岸の土地所有者である国、県、市との協定締結という大きなステップを踏まなければ植栽は実現できません。

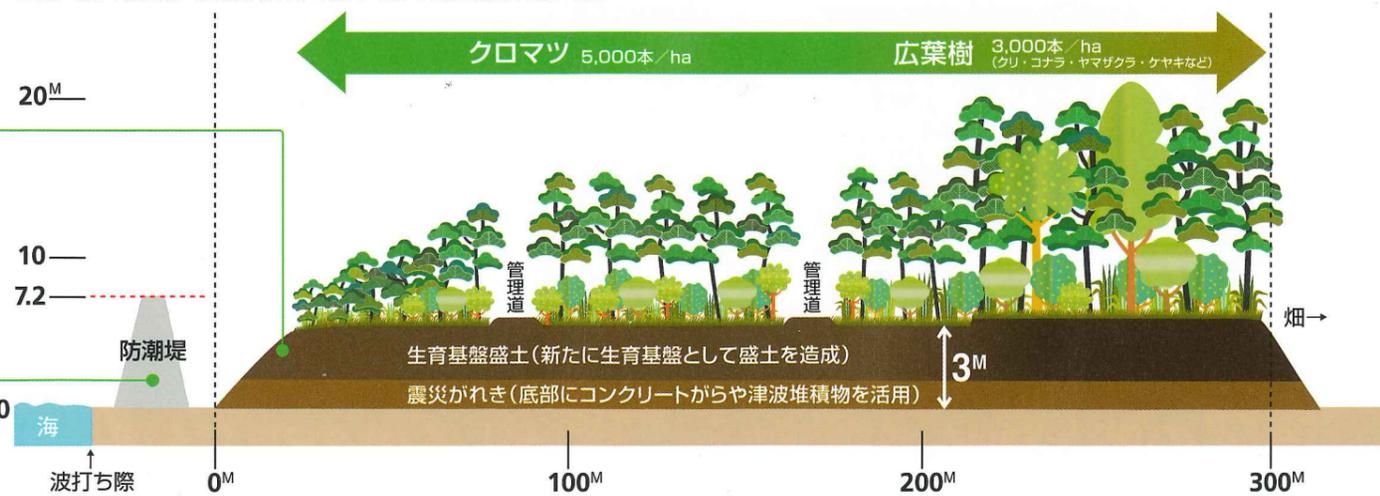
植栽のための苗木生産と並行し、自治体や関係機関との協議が目前の課題です。また、10億円におよぶプロジェクト募金も継続して呼び掛けてまいります。



防風柵が設置された盛土 高さ7mほどの防潮堤がほぼ完成

海岸林再生の将来イメージ(名取市)

林野庁「東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する検討会」資料を元に構成



収支報告 (2011・12年度)

2012年度(2013年3月末)までの寄附・募金額は約1.4億円。育苗が本格的に始まった13年度と植栽スタートが見込まれる来年度以降の支出は大きく増加することが見込まれます。当面「特定費用準備資金」としての積み立て(16年度まで)を行い、今後の大面積の植栽と33年度までの長期育林事業(つる切り、除伐など)への支出に備えることが決定されました。

単位：円

項目		内容	2011年度	2012年度
収入	募金・寄附金など	一般寄附金	50,701,617	70,635,114
	民間助成金	日本財団/(公財)国土緑化推進機構(2011) ボーイング/三井物産環境基金(2012)	2,198,820	14,933,540
	前期繰越金		—	37,251,342
	合計		52,900,437	122,819,996
支出	育苗事業	「名取市海岸林再生の会」への育苗事業委託、 資機材購入、技術習得・研修実施等	5,612,323	20,420,937
	復興支援調査事業	行政・林業事業者・パートナー組織との業務調整・協議、 現地踏査、アドボカシー活動、飛塩予備調査等	5,103,711	1,263,585
	啓発普及事業	現地視察会・シンポジウム・活動報告会開催、 支援者コミュニケーション等	4,933,061	9,752,566
	支出総額		15,649,095	31,437,088
	次期繰越金		37,251,342	41,382,908
	特定費用準備資金		—	50,000,000
	合計		52,900,437	122,819,996

※公益法人が、実施期間や内容などが明確な事業に対し、将来の計画的な実施のために積み立てる資金のこと。内閣府に提出した計画に基づいて積み立てられます。



仮設(住宅)にいるよりよお、休みの日でもここにきて草でも取ってるほうがよっぽどいいから、毎日来てるよ。水やりもやらなきゃなんねえしな。
(森幸一)



4月に移植した苗が枯れた時はがっかりしました。いろんな困難もありますが、頑張りますので、皆さん応援よろしくお願いします。
(大友祐一郎)



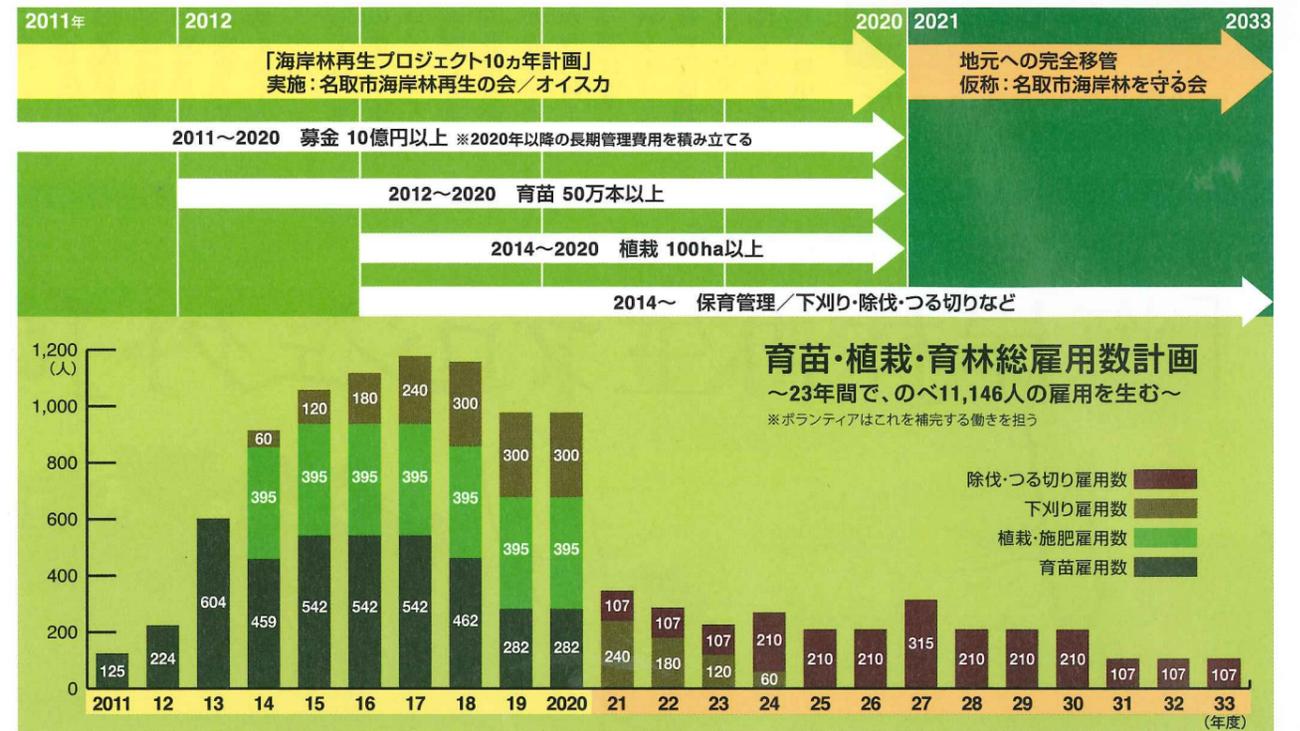
皆さんの支援のおかげで、広い世界を知る機会に恵まれました。今までの人生では経験しなかったことばかり。もっといろいろ勉強したい。この前はアフリカの熱心な記者さんたちと一緒に草取りしたのが楽しかった。
(大友淑子)



自分の畑とこっちの作業と両方あるから忙しいな。でも、みんなでしゃべりながら仕事すると疲れないうね、気心知れてるから楽しい。クロマツは自然のものだからね、何も意気込まずに自然体でやればいいの。
(大友英雄)

海岸林再生の 長期フロー

オイスカでは、2011年から10年計画で「海岸林再生プロジェクト」を実施していますが、2020年以降も必要となる下刈りなどの継続的な管理作業は、「名取市海岸林再生の会」が「名取市海岸林を守る会(仮称)」に移行し、担っていただけるよう体制を整えていきます。





元気な苗木を育てること。それが震災後に支援してもらったことへの恩返し!
(佐藤裕子/大友記代子)



子どものころは、よく松葉拾いをしていました。燃料になるから東京にも売りに出していたぐらい。伊達政宗の時代から先祖代々守り、守られてきた松林を子どもや孫のために自分たちがつくりたい。
(森清)

「名取市海岸林再生の会」メンバーの声

被災地の農業従事者を中心に組織された「名取市海岸林再生の会」のメンバーは現在25名。自分の生活の再建と地域の再生を目指して海岸林の再生に取り組む皆さんにお話を伺いました!



ご支援お待ちしております!

「自宅のパソコン」
クレジットカード決済での
ご寄附も可能です。
[https://www.oisca.or.jp/
support/coast.html](https://www.oisca.or.jp/support/coast.html)

「お近くの銀行」
三菱東京UFJ銀行
永福町支店(支店番号3347)
普通 0054080
公益財団法人オイスカ
(コウエイスタンホウジンオイスカ)

「お近くの郵便局」
0010016-482316
海岸林再生募金

「支援方法」
の手で描かれています。店内にはプロジェクトのチラシも設置され、支援の輪が広がっています。



行灯には「小さなクロマツの苗、すくすく育っています」の文字が

● 広島県・志葉多寿司
志葉多寿司は、広島市内のお寿司屋さん。店の前に置かれた行灯に、プロジェクトを応援するメッセージとクロマツの苗が女将さん

● 神奈川県・井上文雄さん
地元川崎市の市立早野聖地公園で里山ボランティアとして活動する井上さんは、同公園でプロジェクトのチラシ配布や写真パネル展示に協力して下さっています。これまでに設置・配布したチラシは千枚以上!



パネルのほか、ブログ掲載の最新情報なども掲示

「海岸林再生プロジェクト」では、活動を支援して下さる「クロマツお助け隊」の隊員を募集中です。海岸林の存在や再生の意義に関する啓発活動や募金活動をし、仲間の輪を広げている隊員をご紹介します。